

2021年度 情報学部・情報学研究科 留学生相談室 活動報告

情報学研究科
旧 国際教育交流センター
Fung Chui Yuen

1. はじめに

2021年度、国際教育交流センターおよび情報学部・情報学研究科における主な活動について報告する。

日本国内に在住している留学生を対象に、大学院入試に参加したことを条件として研究生受入の二次募集を開始しました。そのため、以前より研究生受入に関する問い合わせが多くなった。

2. 留学生相談室業務

2021年度、留学生の相談件数は411件であった。具体的な相談内容の内訳は表1のとおりである。

表1 留学生相談対応件数

研究生の受入	228
進学・進路・就職	17
ハラスメント関係	2
チューター関係	2
奨学金	16
引越・賃貸関係	59
渡日・隔離措置関係	87
合計	411

3. 留学生受入

私費外国人留学生(私費研究生プログラム)、国費留学生優先配置プログラム(価値創造のためのデータサイエンティスト育成プログラム)、中国国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラム(CSC)、全学間協定校特別研究学生の受入を担当。

3-1. 私費外国人留学生(私費研究生プログラム)の受入

私費外国人留学生(私費研究生プログラム)の応募数及び受入数の集計

入学時期	学部研究生		大学院研究生		合格者 合計
	申請者	合格者	申請者	合格者	
2019年4月	11	9	1	1	10
2019年10月	24	19	2	2	21
2020年4月	15	11	1	1	12
2020年10月	43	24	1	1	25
2021年4月	17	4	3	1	5
2021年10月	48	13	3	1	14

2021年4月入学期から情報学部・情報学研究科における私費外国人留学生（研究生受入専用オンライン出願システム（NU-AAS）を導入した。それに関わるシステムの更新やホームページにて募集情報の発信作業に従事した。

日本語サイト：<https://www.i.nagoya-u.ac.jp/gs/entranceexamination/admission02/>

英語サイト：<https://www.i.nagoya-u.ac.jp/en/gs/entranceexamination/admission02/>

3-2. 国費留学生優先配置プログラムおよびその他プログラムの受入

国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム「価値創造のためのデータサイエンティスト育成プログラム（Education Program for Data Scientist in Future Value Creation）」が2020年に設立された。筆者は東南アジア（ASEAN）出身者を主な対象とした本プログラムの入試および募集要項の英語版の作成を担当した。

また、名古屋大学の中国国家建設高水準大学公費派遣研究生プログラム（CSC）、1年間の交換留学で授業料不徴収の全学間協定校特別研究学生の受入業務に従事した。

4. 奨学金

アジアの国・地域から新たに来日した私費留学生（研究生）を対象に、愛知県内の大学院において本県のものづくり産業を支える分野に関する勉学又は専門分野の研究を行い、修学終了後に本県企業へ就職することを目指す「愛知のものづくりを支える留学生」という奨学金の適格者選考を担当した。

5. 在籍生支援

在学留学生からの多岐にわたる相談に対応した。具体的な内容は、日本での住まい探しやアパート契約、チューター制度、奨学金申請、在留資格延長・変更、進路相談、ハラスメント関係などがあった。

また、新入留学生のための全学新入留学生オリエンテーションや引越オリエンテーションなど各種のオリエンテーションを開催した。

6. 英訳業務

本研究科の学生便覧、博士前期課程、博士後期課程、国費留学生優先配置プログラムの募集要項およびその関連書類の英語版の作成を担当した。